

令和5年度 幸区地域デザイン会議

結果概要

日時 令和5年10月6日（金）

16時～17時30分

場所 ステーションコンファレンス川崎

令和5年12月

1 開催概要

(1) テーマ

『自転車マナーの良いまちさいわいへ』

～自転車交通ルールへの順守と自転車交通事故ゼロを目指して～

令和4年度に実施した区民アンケートで、「自転車に危険を感じたことがあるか」との間に「ある」が8割以上、「危険を感じた状況」の間には「突然の飛び出し」や「携帯電話を使用しながらのながら運転」が6割を超える結果となりました。また、幸区は、交通事故のうち自転車事故の割合が県平均より高い地域として、神奈川県交通安全対策協議会の自転車交通事故多発地域に指定されています。

これらを踏まえ、幸区では一人一人の自転車利用者が交通ルールやマナーを守り、安全運転への意識を醸成することが、交通事故の減少につながるものと考えています。

令和5年度では、自転車利用の機会が多い学生を中心にグループワークを行い、自転車利用のリスクや、自ら行える自転車ルール、マナーアップへの取り組みについて考え、発表することとしました。

(2) 参加者・傍聴者等

参加者：21名

(川崎総合科学高等学校 6名、幸高等学校 4名、専修大学 6名、
幸区交通対策協議会 1名、幸警察署 1名、傍聴者 3名)

2 グループワーク

(1) A班 結果

自転車利用で
危険だと感じたこと

対策や改善策

自分のこと

- ・夜勤後、疲れた状態で運転したとき
- ・電動自転車に乗っていたとき、スピードが出すぎて転んだ。
- ・ながら運転をしているとき
- ・前から逆走してくる自転車 came 来た時
- ・路肩駐車
- ・川沿いでの並走
- ・一時停止無視の自転車

- ・疲れているときの運転はしない
- ・左側通行を守る
- ・警告の看板などをしっかり見て気に掛ける（一時停止など）
- ・事故が起こりそうなところはスピードを落としたり、周りを意識する
- ・常にリスクがあるという意識を持つ
- ・自転車を降りておして歩く
- ・ながら運転をしない
- ・ヘルメットを着用する
- ・事故の恐ろしさを忘れない
- ・自転車のルールを学ぶ

周りのこと

- ・死角からの自転車や車の飛び出し
- ・信号のない交差点
- ・自転車を車道で走っていたときに近くにトラックやバスがいるとき
- ・車道を走っているとき車のスピードが速い
- ・狭い道で後ろから自転車 came 来た時

- ・角で一時停止する
- ・見通しの悪い道ではスピードを落とす
- ・カーブミラーを置く
- ・危険と思われる道は走行しない

自転車のこと

- ・ブレーキが道の途中で効かなくなった。
- ・チェーンが外れた

- ・ライトやブレーキなど個人点検を実施する
- ・自転車の整備をする
- ・定期的な点検、整備

2 グループワーク

(2) B班 結果

スピードの出し過ぎ

- ・歩道で早いスピードで走っている
- ・通学時間の走行スピード、信号無視
- ・配達員の運転

- ・自転車にもスピード計を付ける
- ・ヘルメットの着用
- ・時間に余裕をもって行動する

歩道走行、無灯火運転

- ・歩道を自転車が走っている
- ・ライト無灯火運転

- ・自転車専用道路を作る
- ・歩道を走るのを禁止する
- ・ライトが自動で点灯するようにする

車の運転マナー

- ・猛スピードの自転車が横を通り過ぎ
いった
- ・車道を自転車で走るときに車が横を
すれすれで通過
- ・細い道での車のすり抜け

- ・自転車専用道路を作る、増やす

自転車利用で
危険だと感じたこと

対策や改善策

集団運転

- ・二人乗り運転
- ・集団で横に広がって運転
- ・イヤホンで音楽を聴きながら運転
- ・スマホを見ながらの運転

- ・自転車にのっているときくらい楽し
さを我慢する

その他、危険運転

- ・自転車の逆走
- ・飲酒運転
- ・両手離し運転

- ・ルールを改めて確認する
- ・免許制にする、取り締まりの強化
- ・命の危険、賠償金ととなり合わせと
いうことを自覚する
- ・小・中学校で自転車マナー講座
- ・自転車安全教室などで歩行者側など、
周囲の確認を呼びかける
- ・自分が加害者になるかもしれないと
いう自覚を持つ

3 講評・まとめ

- ✓ 今回の議論を持ち帰って、家族や友人に広めてほしい。
- ✓ ヘルメットの着用は努力義務ではあるが、被ることで事故のとき重大なリスクを減らすことができる。
- ✓ 時間に余裕をもって行動するなど、日頃からのマインドが大切
- ✓ 自転車の点検や法令順守など、できることから実施してほしい。
- ✓ 自転車、車、歩行時の立場を共有して、余裕をもって、思いやる気持ちが重要
- ✓ 交通安全については幼児からの教育も大切
- ✓ 皆でマナーの向上を働きかけていくため、今回で終わらずどんどん広めてほしい。
- ✓ 今回の議論を踏まえ、さまざまな機会で区民の周知に広げていく。